

理窓教育会報

第38号

平成23年10月1日

東京理科大学理窓教育会

事務局 大学会館 PORTA 神楽坂7階

巻頭言『理窓教育会発展のため、支部活動の活性化を』

東京理科大学理窓教育会会長 富岡 康夫

東京理科大学は、前身の東京物理講習所が明治14年に21名の青年理学士によって創立され、建学の精神である「理学の普及は、国運の基」を柱に発展してきました。同窓会は明治22年に創立され、昭和24年に「理窓会」と改称し、卒業生達は、まさに我が国の理学の普及に貢献して参りました。その関連団体の中で理窓教育会は小、中、高校の現場の教員として活躍している方々やOB、OGの方々の集まりで、会員の能力の向上や大学発展のための協力などを目的としています。具体的にはこの「理窓教育会報」の発行や各教員の研修会、平成21年度より実施している坊っちゃん科学賞研究論文コンテスト（高校生部門）の側面的支援などです。

理窓会は平成18年に創立125周年記念事業を実施しました。平成23年には新しい大学会館が完成し「PORTA 神楽坂」と名付けられその6F、7Fに理窓会の施設が入りました。理窓会の事務室や会議室、そして交流の場である理窓会倶楽部があります。同窓の皆さんにはお気軽に更なるご活用をお願いします。機関誌「理窓」、情報紙『理科大 today』、ホームページなどを是非ご覧下さい。

さて、理窓教育会の使命ですが、特に今日では建学の精神を踏まえて、大学を側面的に支援することだと考えます。現在本学の卒業生や関係者が理窓教育会を担っていますが、昨今の状況で教育に携わる団塊の世代が定年を迎え大量に新規採用教員が採用されています。多くの次の若者を育てる継続の問題

が生まれています。幸いにして大学や教職課程指導室の努力で実績を上げていますが、全国に名を届かせた先輩方の後をしっかりと継ぐ教師を育てなければなりません。

このためには、まず支部の活動や組織が重要となります。理窓会の支部活動はしっかり行われていますが、それに頼り切って、理窓教育会の活動は曖昧になっている部分があると聞きます。この際、理窓会とともに理窓教育会の支部活動を充実させて欲しいと思います。そのためには、まず学校現場で、同窓の人をしっかりと把握し、名簿等を支部でしっかり作成し管理することが重要かと思えます。理窓教育会報37号でもお願いしましたが完成度の高い名簿を作成して頂きたいと考えます。支部では懇親会や様々な行事を企画していると思いますが、組織の基礎となるのは名簿であります。

また、理窓会の主催で平成21年度より実施している「坊っちゃん科学賞研究論文コンテスト高校部門」は本年で第3回を迎えます。私自身、国立科学博物館野依科学奨励賞等の審査の経験を生かして支援や運営を考えております。本年は平成23年10月30日のホームカミングDAYに開催します。生徒の励みになるばかりでなく、指導教員同士の交流や授業改善へのアイデアなど多くの波及効果が期待されます。是非応募を勧めて下さい。

最後に理窓教育会が皆様方のお力添えで益々充実、発展することを願っております。

(私立文華女子中学・高等学校長)

東京理科大学理窓教育会 平成23年度 総会

第1号議案 平成22年度 会務報告

1 東京理科大学理窓教育会総会

平成22年度は、「書面総会」の形式で実施した。各支部長に下記の事項の議案を送付し、意見等をアンケートの形で回答してもらった。それを本部で集計し、会報第36号に詳細を掲載して、書面で承認してもらった。

- ① 平成21年度の会務報告及び会計報告。
- ② 平成22年度の活動計画及び予算案。

2. 組織の充実、強化に関して

① 各支部の活動状況

5月23日	東京支部総会	7月10日	神奈川支部総会
6月19日	宮崎支部総会	8月22日	千葉支部総会
9月4日	北海道支部総会	9月25日	山梨支部総会
10月23日	秋田支部総会	12月4日	埼玉支部総会
1月22日	静岡支部総会		

② 会報発行

第36号平成22年10月1日発行

第37号平成23年4月1日発行

- ③ 副会長・支部長に会の活動状況、理窓教育会規約、副会長・支部長名簿等を送付し組織の活性化を図った。(10月)

1. 大学との連携事業

① 大学「入学前学習支援」事業への協力

「入学前学習支援委員会」の計画に基づき、理窓教育会会員の添削委員が添削作業に取り組んだ。

2. その他の活動（東京支部主催）

① 管理職選考合格者・退職者等激励会（3月5日）

年度当初、各支部長にお願いして管理職の調査を行っている。この調査に基づき、東京都の23年度昇任予定者、23年度選考合格者、22年度末退職者を紹介し激励した。

② 新規採用教員予定者激励会（3月5日）

本学を卒業し全国の公私立学校に新規採用の予定者を招いて激励した。

③ 編集委員会

平成22年7月 第36号の発行について

平成23年2月 第37号の発行について

④ 指導委員会

大学の講座（生徒指導演習 授業構成法演習 教育実習事前指導）への講師を推薦した。

生涯学習センターが実施する教員採用試験対策講座 [3年生対象(秋) 合宿(3月) 4年生対象(春)] への講師を紹介した。講義内容検討会(7月)を行った。

就職課が実施する教職ガイダンス [4年生対象(4月) 3年生対象(11月)] 及び面接指導(2次試験対策)への講師を紹介した。

⑤ 研修委員会

東京都管理職選考第一次選考合格者への面接指導を実施した。

以上

第3号議案

平成23年度 活動計画案

1. 東京理科大学理窓教育会総会

平成23年理窓教育会総会は、「書面総会」方式とする。昨年度と同様に各支部長に議案を送付し、意見等をアンケートの形で回答してもらい、それを本部で集計し、会報第38号に詳細を掲載して、書面で承認をしてもらうこととする。

2. 各支部総会

各支部で実施する。実施状況を、会報第39号に掲載する。

3. 地区別支部長会

地区別支部長会を実施する。開催を希望する地区の副会長は開催日、開催地等を本部に申し出る。

4. 会報発行

第38号、第39号を発行する。

5. 財政の健全化に向けて

財政の健全化を期して会費納入者の増加を図る。

会報発送宛先ラベルの右下部に会費納入最終年度の数字を記載し、会員の納入年度の確認に利用しできるようにした。各支部では、本部への年会費（1名あたり1000円）の納入の呼びかけを一層進める。

6. 会員の拡大

同窓の教員に会報を送付し、会の活動を紹介し、会員の拡大を図る。

7. 大学との協力促進

① 教員希望学生への指導、採用試験等の情報提供については従来通り実施し、多くの後輩が教職に就けるよう協力する。

就職課ガイダンス、面接指導への講師派遣、生涯学習センター講座への講師派遣等の協力をする。

② 東京理科大学維持拡充資金（第二期）事業への協力。

ア. 趣旨に賛同し、その募金活動を継続推進する。

③ 大学の学生募集の協力。

ア. 学生募集広報に協力する。

イ. 第二部推薦入学の広報に協力をする。

④ 近代科学資料館特別行事への講師派遣。

⑤ ホームカミングデー運営への協力

⑥ 坊ちゃん科学賞の審査・発表会への協力

8. 教育管理職受験者支援（東京支部主催）

ア. 管理職受験希望者への研修の、新しいあり方の検討をする。

イ. 管理職に昇任された方々への祝意を表す会を開催する。

9. 新規採用教員予定者激励会（東京支部主催）

全国の公立、私立学校教員採用試験に合格した学生を招待し、激励会を開催する。

以上

第2号議案 平成22年度会計報告(案)

第4号議案 平成23年度予算(案)

平成22年度 会計報告書

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

[収入の部]

科目	予算	決算	比較増減
前年度繰越金	42,538	42,538	0
納入会費	290,000	212,300	-77,700
理窓会正会員協力金	10,000	7,800	-2,200
雑収入・利息	200	12	-188
合計	342,738	262,650	-80,088

[支出の部]

科目	予算	決算	比較増減
交通費	60,000	57,000	3,000
慶弔費	20,000	25,750	-5,750
会議費	5,000	1,500	3,500
支部長会積立金	30,000	20,000	10,000
事務費	40,000	5,256	34,744
会報印刷費	100,000	60,375	39,625
郵送費	83,000	81,320	1,680
記念品代	0	0	0
予備費	4,738	0	4,738
小計	342,738	251,201	91,537
次年度繰越金		11,449	
合計	342,738	262,650	

※会報印刷費は36号のみ、37号は次年度の支出とした。

※支部長会積立金は決算時に残金からの入金を考慮する。

平成23年度予算

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

[収入の部]

科目	予算
前年度繰越金	11,449
納入会費	250,000
理窓会正会員協力金	10,000
雑収入・利息	10
合計	271,459

[支出の部]

科目	予算
交通費	60,000
慶弔費	20,000
会議費	2,000
支部長会積立金	0
事務費	5,000
会報印刷費	100,000
郵送費	82,000
記念品代	0
予備費	2,459
合計	271,459

※地区別支部長会費会計 平成22年度会計報告及び平成23年度予算(案)

平成22年度 会計報告書

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

[収入の部]

科目	予算	決算	比較増減
前年度繰越金	910,930	910,930	0
本年度会計より	30,000	20,000	-10,000
受取利子	900	446	-454
合計	941,830	931,376	-10,454

[支出の部]

科目	予算	決算	比較増減
地区別支部長会費	250,000	0	250,000
予備費	691,859	0	691,859
小計	941,859	0	941,859
次年度繰越金		931,376	
合計		931,376	

平成23年度予算

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

[収入の部]

科目	予算
前年度繰越金	931,376
本年度会計より	0
受取利子	500
合計	931,876

[支出の部]

科目	予算
地区別支部長会費	250,000
予備費	681,876
合計	931,876

会 計：(各担当理事) 酒匂昭博

松原秀成

(平成23年5月1日作成)

齋藤常典

会計監査:

監査の結果、正確適正である事を認めます。

平成23年5月28日

監査

鈴木宏司

金子和人

総会 総括

平成23年度理窓教育会総会は、昨年度と同様「書面総会」の方式をとらせていただきました。従いまして、議案に対するアンケート形式を採り、全国支部長の皆様の意向を集約させていただきました。

◎ 集約の結果

回答のあった支部数 19 (昨年度 14)

1号議案 賛成 19 反対 0 白票 0

2号議案 賛成 19 反対 0 白票 0

3号議案 賛成 19 反対 0 白票 0

4号議案 賛成 18 反対 0 白票 2

① 議案に反対する意見は 0 です。なお、白票は 4号議案が見つからなかったためと思われる(3号議案と同じ用紙に記載されているため)。

② 各議案に対する意見を原文のまま参考資料として、掲載してあります。

③ 以上、賛成、反対、白票および参考意見を吟味しまして、各議案のすべてをご承認いただいたことにさせていただきます。

以上、平成23年度総会は、各支部長等皆様のご協力により、無事終了させていただくことができました。皆様方のご理解とご協力に厚くお礼申し上げます。

参考資料 書面総会アンケートの集約

ご意見等のあった支部数 5

◎岩手支部：1号～4号議案 賛成

3号 理窓会の目標の一つ「生涯支援」により、被災者の支援についてご配慮ください。岩手県では、被災者のお見舞い、被災高等学校への支援を考慮中です。

◎茨城支部：1号～3号議案 賛成、4号議案は見つからない。

1号 3、その他の活動で、同一年行事を二重で紹介しているのが、多少わかりにくくなっているように思えます。

2号 「地区別支部長会費会計」支出で H22 は決算 0円が気になりました。また繰越金 93万円も気になりました。

3号 大学、教育会の行事、運営にもっと協力し、ボランティア活動を広げましょう、という主旨はよくわかります。

4号 理窓教育会員のメリット、デメリット、魅力 etc をどのように考えたらいいか悩んでいます。新規会員に対しても、本部会費納入に関しても、積極的に勧める掘り所みたいなものに乏しいように思います。

◎富山支部：1号～4号議案 賛成

1号 理科大の教授・准教授等を高校等への講演等に安価な謝礼で派遣できないか。特に、校長が理科大卒者の学校に、生徒への宣伝、大学教授への親近感、学問への情熱をもつ機会となり得る。

※いただいたご意見は10月7日の定例理事会で検討をする予定です。

理窓会東京支部総会報告

東京支部長(45B) 松原秀成

今年度も東京支部総会後の、報告会・講演会・懇親会を教育会東京支部と共催し開催した。

① 日時 平成23年5月22日(日)13:00～

② 場所 東京理科大学1号館記念講堂及び大会議室

③ 参加者 65名

④ 総会

招待者：渡辺恒夫常務理事、山田義幸理窓会会長、森野義男維持会会長、豊泉こうよう会東京支部長、近県支部長3名

副支部長島崎益男氏の司会で、議題など無事終了した。

⑤ 報告会

大学の現状、理窓会の活動報告、維持拡充第2期募金の説明

⑥ 講演会

講師 元 HOYA 株式会社開発部フェロー
木谷 明 先生

演題「累進レンズの開発にあたっての苦心」

木谷氏は本学 44B 卒業と同時に眼鏡レンズ業界大手の HOYA レンズに入社される。レンズ設計及び技術開発に携わり 1987 年

HOYA 初の累進レンズ V₃を開発された。その功績が認められ 2005 年仏国・パリ開催の世界的な賞「シルモ 2005」レンズ部門グランプリを受賞された。

⑦ 懇親会

渡辺恒夫常務理事、藤嶋昭学長、豊泉こうよう会東京支部長の祝辞をいただき、関根功相談役の乾杯発声で懇親に入った。有意義で楽しい懇親の会となった。最後に富岡康夫理窓教育会東京支部長の中締めで終了した。

理窓会代議員総会報告

(41S) 坂本 功

理窓会代議員総会が 6 月 19 日(日)13 時より、神楽坂校舎 1 号館 17F の記念講堂で開かれました。

なお午前中は理窓会支部長会が同場所で開かれ、全国から集まった、理窓会支部長が活発な支部活動の報告を行いました。

山田義幸会長の挨拶、及び所信表明では、理窓会の歴史を 3 つの節目に分けて紹介し、現時点での理窓会のさまざまなデータを示し、理窓会の姿を推測させました。そしてその数値をさらに上げるための、地道な活動を提案いたしました。

議事は、山田会長が議長を務め、平成 22 年度理窓会会務報告、同収支決算並びに監査報告、平成 23 年度理窓会事業計画・行事日程、同理窓会予算、役員定年延長および欠員補充について、などの議事について活発な審議が行われすべてが承認されました。

続いて、ホームカミングデーについて、坊ちゃん科学賞について、維持拡充資金について、の報告がなされました。

その後、懇親会が 4 月に完成した、PORTA 神楽坂の理窓倶楽部で行なわれました。「こうよう会」からの参加も得て、和気藹々と懇親を深めました。

新任教員の抱負

東京都立科学技術高等学校

教諭 坂本 江未 (平 23 理・教)

「おはようございます。」緊張しながらの初出勤だった 4 月 1 日、緊張がほぐれたのは生徒からの元気のよいあいさつでした。

私が高校 2 年生の夏、部活動で先輩が引退したとき、顧問の先生の偉大さを知り、どうしても恩返しがしたいと思い、高校の教師になろうと決意をしました。高校の教員になりたいと進路を変更してからがむしやりに勉強して今、夢への第一歩に立てたと思っています。授業では高校 2 年生を中心に教えており、同じ進路に悩む時期なのだと感じながら、生徒の勉強や生活に関する悩みをサポートできるように、日々勉強しています。

現場にいて思うことは、「良い授業」とか「信頼ある先生」について常に考えて行動していかなければならないということです。思った以上に自分の責任は重く、はじめての授業で教壇に立ったとき、教育実習や模擬授業と違って私一人対生徒という状況でした。当たり前のことですが、ああ本当に自分が教員として認められて、一人の教員として動いていかなければならないのだと痛感した日でした。

生徒は十人十色でいろいろな反応を示してくれます。びっくりするのを言ってきたり、困らせたり、悩んでしまう反応もいっぱいあります。それで悩んで、落ち込んでも、やっぱり元気をくれるのは生徒なのだ実感しています。

そして、現在は素晴らしい同僚にも恵まれ、悩みを話したり、討論したり、充実した日々を送っています。今後辛いことや、困難なことだらけかもしれませんが、生徒の笑顔が何よりももの力になるのだらうなとしみじみと思えます。そして、支援室の先生方をはじめ、指導に当たってくださった先生方、一緒に教員を目指して頑張った友人がいたからこそ、夢がかなったと確信しています。

生徒の笑顔を見ると、教師になってよかったと思います。生徒の笑顔が一人でも多く見られるように、日々努力していきたいです。

埼玉県立芸術総合高等学校

教諭 木戸 俊吾 (平 21 理・数)

私は大学卒業後、埼玉県の教員として現在の埼玉県立芸術総合高校に勤務することができました。教員になって3年目になります。

現在の勤務校は、美術科・音楽科・映像芸術科・舞台芸術科の4科からなる、芸術を学ぶ生徒が通う学校です。普通科はなく、また、3年間クラス替えがない、かなり特殊な学校だと思います。

私は、数学と情報の授業を担当しています。特に情報は、学校に情報の授業を担当する教員が自分しかおらず、数学での採用ながら1年目から「情報科主任」という立場を任せられました。免許状はもっていたものの、自分が習ったことのない情報という授業をどのように展開すればよいのかさっぱりわからず、他校の先生や初任者の仲間に聞きながら準備をしていたのを今でも思い出します。現在は授業にも慣れ、前々からやってみたいと思っていた授業を実際に行う余裕もできてきました。その中で、昨年はあるご縁から埼玉県の調査研究に参加させていただいたり、今年は情報科の初任者研修に講師として呼んでいただいたりと、がむしゃらに努力していたのが良い方向にむかっているように感じられ、うれしい限りです。

また、昨年から映像芸術科の担任をさせていただいています。今年は昨年のクラスを担当としてそのまま持ち上がることができました。自分のクラスを持つことで、仕事の量は一気に増えたように感じます。それこそ朝から晩まで、生徒が学校にいる時間はほとんど一緒にいます。その時間は楽しくもあり、つらくもあります。特に学級経営で困難にぶつかることが何度もあり、その度に周りの先輩教員に助けていただきました。まだまだすべてを1人で、というわけにはいきませんが、生徒とともに自分も担任として成長できるよう、先輩方から学んでいきたいと考えています。

「教師になりたい」そう考えたのがちょうど10年前。あのころ描いていた教師像に、少

しでも近づけるよう、日々努力していきたいと思っています。

神奈川県立麻生高等学校

教諭 加藤 祐樹 (平 23 理・専数)

大学の友人や指導室の先生方のお力添えのおかげで、私は今、神奈川県立麻生高等学校で教諭として勤務しています。

麻生は語学や芸術に特に力を入れている学校で、学校の中には生徒の作った作品が展示されています。作品は絵であったり陶器であったり様々です。また、チアリーディング部の活動も非常に盛んで、全国大会やアジア大会にも出場しています。この麻生で、私は教員としての人生をスタートさせていただくことになりました。

授業は数学Iを1クラスと数学Bを2クラス、そして数学Cを1クラス担当しています。数学Iは40人のクラスが20人ずつに分かれて行われます。そのため、生徒一人ひとりの達成度を把握しやすく、授業も効率よく進めることができます。数学が得意な生徒は少ないですが、真面目な生徒が多く、こちらが一生懸命教えればそれに応えてくれます。まだまだ授業は未熟ですが、生徒とともに成長していきたいです。

部活動は卓球部の主顧問を任されています。今年は残念ながら新入生が入部せず、3年生が引退して2年生のみで活動することになってしまいました。そのため他校との合同練習や練習試合、近くの中学校とも合同練習をすることを考えています。技術指導から大会や講習の申し込み、引率、すべて一人でやるのは大変ですが、日曜日以外の週6日毎日部活動に顔を出し、生徒とコミュニケーションをとっています。地区最下位のチームですが、私が顧問でいるうちに良い成績を残せるよう頑張って指導していきます。

まだ授業数も少なく、木曜日は初任者研修で学校を1日空けることもあり、担当の生徒の顔と名前がまだ一致しません。期末テストが終わったら午前授業になり、さらに生徒と触れ合う時間が少なくなってしまいます。早く生徒を覚え、よい関係を築くことができる

よう頑張っています。

私立獨協中学・高等学校

教諭 鈴木 佑麻（平23理・物）

平成23年3月に、卒業式がないまま大学を卒業、4月より文京区の獨協中学・高等学校にて勤務しています。これを書いている今、勤め始めてから約2ヶ月が経過しました。ようやく仕事にも慣れてきて、教壇に立つ前の、不安な気持ちは取れてきたように感じています。今は、毎回の授業を楽しく行えることができている。もちろん生徒が理解できていなければ仕方がないのですが・・・今後ともより良い授業ができるよう、研鑽を積みたいたいと思っています。

授業は中1、中3、高2、高3と4学年請け負っています。中学1年生と高校3年生ではまったく異なる反応を示します。上級生を惹きつける難しさは頭を悩ませています。彼らと共有する時間を持てれば・・・とは思いますが、実行できていないのが現状です。今年度は担任も校務分掌もないので、（おそらく授業に集中しろ、との学校からのメッセージ）比較的時には余裕があり、なんとか改善できるよう、頑張っています。

中学時代から大学時代まで、剣道部一筋で活動して来て、学校でも剣道部の顧問に就任することができました。部活動の指導は時間的、体力的に厳しいときもあるのですが、そこでしか見られない生徒の表情があり、意外な一面を見ることがありますので、楽しい時間でもあります。生徒と顧問の信頼関係を築くこと、対外試合のために、外部の関係者と知り合いになること、試合の申し込み手続きや保護者との関係・・・課題は山積みですが、これも一つずつクリアしていきたいと思いません。

自分の希望の職業に就けたことがどれほど幸せなことか、毎日の生活の中日々感じています。23年間私を育ててくれた両親、小・中・高等学校と大学の先生方、楽しい時間をくれた友人、先輩、後輩達…すべての関わりに感謝せずにはられません。感謝の気持ちを胸に、日々精進して参ります。

私立日本大学第二中学・高等学校

教諭 平野 敏詞（平22理・数）

「将来、この先生のようにになりたい。」中学生のときに感じたこの思いが、私の教師としての原点です。縁あって、昨年度は非常勤講師として、本年度からは専任教諭として、母校、日本大学第二中学・高等学校に勤務しています。

教職を志すきっかけとなった先生方と、文字通り、机を並べられるということは非常に有り難いことだと感じています。その一方で、決してそのような状況に甘えることがないように自戒しています。日々、失敗と反省の連続で、一人の教師としてどうあるべきか、悩み、考え、実践する毎日です。

授業では、高校1年生と3年生の数学を担当しています。数学を学ぶ意義の1つとして「自分の考えを相手に理解してもらって練習である」ということを掲げて、「相手に伝わる解答作り」ができるように指導しています。少しずつではありますが、解答の書き方に変化が生じてきているように感じています。

数学が苦手な生徒も多いですが、じっくりと向き合い、「そうか。わかった。」という声が聞けると、私自身も頑張ろうという気持ちになるなど、良い刺激を受けています。

部活動では、高校サッカー部の顧問をしています。90人の大所帯で、学年によって部活動の取り組み方に違いがあり、チームとしてまとまるのが難しい状況が続いています。

サッカーは未経験ですが、私のスポーツ経験を踏まえ、チームとして戦うことの意義やチームのあり方などできることから1つずつ指導をしています。また、未経験でも一生懸命に取り組む姿を示すことで、生徒たちに伝えられることがあると信じて活動しています。

人は人とのふれあいの中で成長するものであると私は考えています。子ども達が成長できるような環境作りに励むとともに、私自身が生徒とのつながりを深め、常に成長し続けるよう、これからも努力していこうと考えています。

私立明星中学高等学校

教諭 真島 由紀子 (平 23 理・数)

4月から明星中学高等学校で私の教員としての生活が始まり、約3カ月が経ちました。私はこの3カ月間、ただただ目の前のことをこなすことで精いっぱいでした。

授業では、万全に準備をしたつもりでも発問が生徒になかなか伝わらなかったり、数学の得意な生徒とそうでない生徒どちらもいる中でどのレベルで授業を進めたらよいか悩んだりとなかなかうまくいかないこともありました。そうした悩みを先輩の先生方にぶつくと板書の量と内容の推敲をするといふこと、数学が得意な子が余った時間で取り組める問題プリントがあるといふことなどを教えていただきました。3カ月の中で積極的に発言する生徒が少しずつ増えてきているので今後は授業内での生徒とのやりとりを増やして活気ある授業を生徒と作っていきたいです。

また、生徒指導では生徒を叱る場合の教師の真剣な眼差しと態度が生徒の心に響くといふことを他の先生方の指導を間近で見て肌で感じました。私も未熟ながらそのような指導を心掛けています。

毎日忙しく大変なことも多いですが、生徒と一緒に掃除や勉強をする時間は楽しく、生徒の笑顔から原動力をもらうこともたくさんあります。周りの先生方にも毎日支えられ、私はこの3カ月教師として過ごすことができたことを、本当に幸せに思います。今後は与えられたことだけでなく、積極的に自分のできることを探し、誰からも信頼される教師を目指していきます。

私立茗溪学園中学校高等学校

教諭 小笹 哲夫 (平 23 院理・化)

私は、今年の3月に大学院理学研究科化学専攻博士後期課程を修了し、4月からは茨城県つくば市にある茗溪学園中学校高等学校の教員として、教壇に立っています。茗溪学園は中高一貫の共学校であり、学校の特徴としては学校行事が多いこと、部活動が盛んなこと、帰国子女の比率が高いことなどを挙げることができます。さらに、この春に文部科学

省からスーパーサイエンスハイスクール (SSH) の指定を受けました。授業だけではなく校務分掌や部活動の顧問など、何もかもが初めてで戸惑うことばかりですが、夢であった教師としての日々は、とても充実しています。

現在私は、高校1年生の副担任を、部活動は科学部を、教科指導は高校1年生と高校3年生の化学を担当しています。化学の学習を始めたばかりの高校1年生には化学の楽しさを知ってもらえるように、また、受験を控えた高校3年生には受験に対応できるような高い学力を身につけられるようにと試行錯誤しながら授業を行っています。いずれの学年も、授業中に私の思いつかなかったような疑問をぶつけてくることがあったり、ときには、大学生が学ぶような内容を高校生でも理解できるように説明しなければならぬ場面があります。このようなときに、より深い化学の知識・理解が必要だと痛感し、日々勉強に勤しんでいます。

さらに、茗溪学園には親元を離れて生活する生徒のための学寮があり、私を含めて若手教員の多くはこの学寮のサブマスターとして寮に住み込みながら、寮生の日々の生活をサポートしたり、寮のイベントのお手伝いをしたりしています。ときには不便さを感じることもある寮生活ですが、寮生たちには、仲間と一緒に過ごすことで互いに刺激しあい、より深みのある人間へと成長していったらいいと思います。

未だ仕事の要領がつかめず、悩みの絶えない日々が続いていますが、一日も早く一人前の教員として活躍したいと思います。この様々な場面で先輩方のお世話になるかと存じますが、今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

管理職への昇格

平成23年度の人事異動で、多くの同窓生が管理職に昇任されました。心からお祝い申し上げます。

【北海道】

石谷克彦 54 理工物 常呂高長

【秋田】

小松正孝 西仙北高長

澤井康孝 矢島高長

【宮城】

横橋 健 53 理工応生 玉浦中長

【茨城】

福田洋治 55 理工数 猿島高長

横田和己 56 理工数 教育庁高校教育課
課長補佐

鮎川光義 57 理数 教育研修センター課長

【東京】

(校長)

渡部考司 55 理化 板橋区立向原中

齋藤 実 59 理物 練馬区立光が丘第一中
安井 実 練馬区立大泉学園中

伊藤陽一郎 55 理工数 三鷹市立第七中

井ノ口賀啓 55 理応化多摩市立多摩永山中

塩谷 耕 59 理応数 私立京華中・高長
(副校長)

滝沢二三雄 60 理数 中央区立晴海中

川島 隆 61 理数 日野市立日野第一中

陸奥功一 57 理応数 狛江市立狛江第三中

【山梨】

中込悟 55 理工物理 笛吹市立一宮南小頭

【長野】

横川秀明 54 理応数 飯田風越高長

【岡山】

小林義忠 56 理数 倉敷市立東陽中頭

【鹿児島】

豊島真臣 54 理工応数 県教職員課長

二川美俊 59 理化 桜島中長

堀ノ内昭二 59 理化 西指宿中長

以上、名簿到着の都道府県のみ掲載です。

東京は管理職選考試験合格者です。

同窓の活躍

私の選んだ道
東村山市教育委員会教育長 森 純

東村山市の教育長に就任して早いもので4年目に入りました。

これまでは、管理主事として3年間の人事行政経験はあるものの、公立中学校の教諭、教頭、校長と学校現場で過ごしてきましたので、教育長就任当時は、議会対応を含め未知のことが多く戸惑うことばかりでした。

話はさかのぼりますが、私が35歳で管理職を目指すことを決めたきっかけは、当時勤めていた中学校の校長で理科大出身の塚越康吉先生の勧めがあったからです。塚越先生は、当時よく私たちを校長室に呼び、教員としての在り方や生き方などについて、色々とレクチャーをしてくださいました。その中で特に印象に残っているのが「道が二股に分かれていたら、迷わずに困難な道を選びなさい」と言われたことです。当時はその言葉の真意がよく分からず、望んで苦勞はしたくないものだと思っていました。しかし、その後自分が選んできた道を通し、言葉の意味が分かってきたため、今ではその言葉が私の指針となっています。

ある日、塚越先生から「管理職試験を受けてみないか、まずは受けてみるだけでいいから」と言われました。当時の私は、まだ若いという気持ちもあり管理職になる気はなかったのですが、断わる理由も見つからず、受けるだけならばいいかという安易な気持ちで受験することにしました。また、その頃の私は教頭よりは指導主事になり指導行政に携わりたいと漠然と考えていましたので、指導主事試験に挑戦することにしました。

当時の指導主事試験は非常に難しく、初回は勿論その後続けて挑戦しても合格せず次第に自分自身のふがいなさに腹が立ってきました。その結果、気がついたら自ら勉強したいという気持ちに変わっていました。塚越先生にお願いして、毎週大学で行われた勉強会に参加させていただいたり、野田校舎での合宿に参加させていただいたりしました。そこで多くの校長先生から様々なことを教えていただきました。振り返ってみますと、その頃一生懸命勉強し、ご指導いただいたことが今でも役に立っていることに、改めて感謝申し上げる次第です。

結局、指導主事試験には5年挑戦しましたが、合格することはできず、教頭試験に切り替えました。教頭試験は指導主事試験に比べ出題数も少なく、競争倍率も低かったので、一回で合格することができました。これは、指導主事試験のために勉強していた成果だと思いました。指導主事を諦めて就いた教頭職ですが、教頭がいなければ学校が円滑に機能しないということを実感できるやりがいのある仕事でした。指導主事にならずに教頭になったことは、私にとって結果的に良かったと思っています。

そして、2年間校長を務めた後、教育庁人事事で3年間管理主事として人事行政を経験できたことも、東京都全体を見渡すことのできる大変貴重な機会をいただいたと思っています。

また、現在の東村山市教育長の職をお引き受けする時も、定年退職まで4年を残す私には極めて大きな決断となりました。教育長という職務は重責であり、未知の世界に飛び込んで自分に仕事が務まるだろうかという不安もあり、引き受けるべきか大変迷いました。色々と悩んだ末、苦勞するであろうことは十分に予想されましたが、それなりにやり甲斐のある仕事であると考え、あえて困難な道を選ぶことを決意した次第です。

現在勤務している東村山市の教育委員会事務局（教育部）は大変大きな組織で、市役所の他の部と比べても大きな部となります。学校教育については、専門分野ですので、よくわかっていたのですが、教育委員会事務局の半分を占める社会教育分野については、ほとんど関わっていなかった関係で戸惑いました。特に地域や色々な団体との関わりが深く、それを把握するのにかなりの時間がかかりました。

また、教育長就任以来、これまで色々なトラブルにも見舞われました。2年前は新型インフルエンザの流行による修学旅行のキャンセル問題。また、昨年は大阪府の人事権移譲により、教育長会でも人事権の問題が課題になりましたし、東京都の学力向上調査につい

ても課題が提起され、現在も協議継続中です。今年に入っては、3月11日の東日本大震災を受けて、計画停電中の給食や授業、登下校のあり方について早急な対応を迫られましたし、その後は、福島原子力発電所の事故による校庭やプールへの放射汚染を心配する保護者等への対応に追われ、いつになく忙しい状況が続いています。

しかし、いつの時代でも課題はあるものです。子どもたちが明るく、元気に学校生活を送り、豊かな人間性を育んでいけるよう今後も努力していきたいと思っています。

大学との連携

1 教員採用試験対策講座4年生直前コース

東京理科大学生涯学習センターの公開講座「4年生直前コース」が4月24日からの毎日曜日6回行われ、理窓教育会の先生方15名が約60名の学生を指導しました。

2 工学部二部入学前集中講義

理窓教育会が工学部二部より依頼を受けて、入学前の集中講義を行いました。

高校の選択科目の多様化や、大学の推薦入試などの影響で、微分・積分や物理などの力が不十分のまま、入学してくる学生が増えています。4月5日、6日、7日、8日の4日間、理窓教育会の会員が約300名の新入生に二次関数から微分・積分まで、力学を中心とした物理を演習形式で指導しました。アンケートで「入学してやっていた自信がついた」等、好評でした。

3 第2次試験対策講座

例年行なっている教員採用試験対策講座の合宿が、大震災のため中止になりました。しかし理科大学が苦手とする面接などの指導の要望があり、7月17日、24日の2日間、理窓教育会の先生方が指導しました。指導の成果を期待します。

事務局より

1 支部（支部長）との連絡窓口

教職課程指導室 小久保正己

TEL 03-3260-4271 内線 2780

FAX 03-3260-1776

メール kokubo@rs.kagu.tus.ac.jp

2 一般の連絡窓口

①書面での連絡先

〒162-0825 新宿区神楽坂2-6-1

PORTA 神楽坂 7F 理窓会事務所内

東京理科大学理窓教育会 宛

②急ぎの連絡先

教職課程指導室 坂本功（総務理事）

TEL 03-3260-4271 内線 2780

FAX 03-3260-1776

メール isoskmt@rs.kagu.tus.ac.jp

3 理窓教育会ホームページ

「理窓教育会」と入力すると、開きます。
「東京理科大学理窓会」のホームページの中に
「理窓教育会」のものがあります。

ホームページアドレスは次の通りです。

<http://risoukai.rikadai.jp/>

4 会費納入状況

下記の表の通りです。なお、平成23年度は
7月4日現在の納入数です。

理窓教育会					支部別会費納入数				
県名	20年度	21年度	22年度	23年度	県名	20年度	21年度	22年度	23年度
北海道			1		滋賀				
青森	1	1	1	1	京都				
岩手	7	4	4	5	大阪	2	2	2	1
宮城	12	4	12	1	兵庫	6		2	
秋田	15	17	16	1	奈良				
山形	1	1		1	和歌山				
福島					鳥取	3	3	1	1
茨城	25	24	8	6	島根				
栃木					岡山				
群馬	1	1	1		広島	42	33	40	7
埼玉	42	40	45	38	山口	4	2	3	
千葉	3	66	4	32	徳島				
東京	54	60	43	38	香川	1	1	1	1
神奈川	33	9	14	12	愛媛				
山梨	1		2	1	高知		2	1	
長野					福岡	3	1	1	1
静岡	22	18	7	23	佐賀	1			
愛知	1	1	2	2	長崎	1	1	1	1
岐阜	1	1	1		熊本				
三重		1	2	1	大分				
新潟	1	1	1	1	宮崎				
富山	9.5	9	9		鹿児島	1	1	1	1
石川					沖縄				
福井					小計	63	46	53	13
小計	229.5	258	173	163	合計	292.5	304	226	176